

# 菊陽人 りさーち



はしもと あつし  
**橋本 充司さん (10歳)**  
[中代]

- 趣味 サッカー、卓球
- 将来の夢 サッカー選手になること
- 自慢 サッカーができること
- 今一番やりたいこと サッカー

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される方は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。

注) 掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している方に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらよりご連絡させていただきます。



むらかみ だいすけ  
**村上 大将さん (12歳)**  
[上中代]

- 趣味 バスケット
- 将来の夢 バスケットで優勝すること
- 自分を一言であらわすと バスケットマン
- 自慢 家の手伝いをよくすること

# 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権  
作文シリーズ  
【No.4】

家族関係を結ぶ愛情、労働等を見つめることで、子どもは自分の家族内での存在を確かめ、安心し、自らの尊厳を確立していくようです。さらに高学年になると、友人との関係で自分を見つめる社会性の高い見方へと成長しています。こうして、家族や友人との豊かな関係を切り裂こうとする「差別」に気づく心、行動、社会性を人権学習によって培っています。

## お返しをもらおう

菊陽西小学校5年 叶 晴夏



▲思いを伝えあうなかま

二分の一人成人式に向けて自分の成長を振り返る学習をしました。その中で「家族からの手紙」をもらいました。私は、その手紙を読んで一番びっくりしたことは、お父さん、お母さんからの手紙がとても長かったです。弟が生まれてから、お父さんもお母さんも弟にかまっていることが多く、私はあまりかまってももらえませんでした。けれど、も今このことで、お父さん、お母さんの愛を感じることができました。

また、生まれたときのことを発表しお返しでうれしかったのは三つです。一つ目は、みんなが色んなことを思い、書いてくれたことです。二つ目は、友だちが、「名前はお父さん、お母さんがつけた名前なので、大切にしてください。」と書いてありました。これを読んで、名前は大切にしようと思いました。三つ目は、「電話をたくさんしたり、夜までこうふんしてねれないほどうれしかったんだね。」と書いてありました。私が生まれて、お母さんがとても喜んでくれたことを改めて思いました。だから、今回のように考えたり、思ったりしているのを伝えたいです。

## 本当のことを知るための大切な自分の行動

武蔵ヶ丘北小6年 若杉 早哉佳  
(現武蔵ヶ丘中1年)



▲本当のことを知る学習

わたしは恵楓園学習でハンセン病の事を学んで、本当のことを知る大切さがよく分かりました。それまでの私は、本当のことを知らずに、思いこみだけで人を判断していたけど、話したり、遊んだりして、本当の事をしって、相手の気持ちを考えよう行動するようになっていきました。授業中に友だちが言ったことにお返しをすることも、前よりできてきます。自分から思いを伝えることは、まだ足りないから増やしていきたいです。恵楓園の事前学習で、「人は自分より下の人をつくって安心する。」という文章があったので、自分のおかしさがよく分かりました。自分のどんなところが悪いのかきちんと考えるようになりました。今は、人の気持ちを考えよう行動することが一番大切だと思います。今は、たくさんの人たちと仲良くできています。これからみんなが良い方向に行動できると、みんなが楽しく暮らせるから、この行動を続けていきたい。また、人に流されずに、自分の意見をしっかりと持って行動していきたいです。

## 「がんばりおひつわろ」

菊陽南小学校3年 伊藤 たける



▲協力して学ぶクラス

ぼくのおとうさんは、鉄工じぎょうという仕事をしています。おとうさんは、そのこやしゃこ、農家の人や建築、土木のげん場の道具をつくったりしゅりたりします。鉄、ステンレスなどで、いろいろな形のものを作ります。長い時間しゃがんだまや、足場やきやたつを上ったり下がったりで、足やこしがとてもつかれます。きつそうです。でも、お客さんが喜んでくれるものが作れるようにいつも考えています。同じ仕事をしている人には、負けたくない、いいものを作りたいと思っています。

子どもに対する願いは、「これから、いろんな仕事があることを学んでいって、自分をよく見つけ、何が楽しいのか、何がやりたいのかを考え、目標を持って生きてほしい。」と思いました。これを聞いて、ぼくは、頑張り屋でやさしいお父さんだなあと思いました。

## 菊陽句会報 きくよう文芸

見上げれば指先程の青い柿	坂本百合子	ふる里に母在りてこそ新茶の香	吉野 早苗
くらなしの香りひそやか禅の寺	田中 郁子	推敲の又あと戻る時鳥	川口 豊子
星ひとつ飛ばし地球へ実梅墜つ	村田 正三	梅の実や殊に追わるる厨事	井上久美子
老いてなほ深紅の薔薇に沸く心	井 子文	芍薬の散り果つ枝葉ねんごろに	日高 妙子
こともなく六十路も半ば水羊羹	財津 早雪	団樂の明かりに惑ふ窓螢	曾我 育代
雨けぶる薄墨ながし花菖蒲	原野レイ子	ベチニアの飛石隙間生き生きと	曾我トモ子
螢みるおさなこの目はまんまるく	西村ひとえ	細やかな幸せ庭の茄子の味	紫藤 祥子
月見草月と語らふ刻短か	カ 幸子	五月雨の優美に包む檀那寺	村上 朋子
枇杷もぎて我に手渡す夫ありて	寺尾千代子	遠来の客持てなしの冷やし汁	合志 重子
竹落葉空中散歩風まかせ	高橋 孝子	一片の雲より白く夏立り	野口 令史
髪軽く麦秋の道疾走す	佐藤 颯	甚平や行きて帰らぬ我が夢か	松橋 強
ソフトボール一番バッター夏の雲	佐藤 航	竹落葉舞ふが定めの日かな	佐藤 澄世
毛虫パンジーの葉を食べつくす	佐藤 健	幾十年想ひ切れ切れ萩の径	三島 一路
新若布入荷よ京の老舗より	佐藤 節		

## 短歌会

波を背にカメラに向かう三人は亡き母に似しそれぞれの顔  
子の家に十日余りの滞在にて恋しくなりし神園の山  
高らかに我が吹きてゆくオカリナの音色も消えぬ歌声の中  
微笑みてあいさつをする中学生に「気をつけてネ」と言葉かけたり  
我が向かう森に山吹花咲きにけり十年近き弓削の通い路  
貝塚息吹の刈られし後の風に乗りかぐわしき香り漂い満り

今村 貞子  
岡本まさえ  
菊川あさみ  
下田 久子  
皆嶋キクノ  
森 敦子